ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社
2012年4月
情報提供資料
No.58

欧州No.1を狙うロシアの自動車産業

世界金融危機で大きく落ち込んだロシアの自動車産業が、急速な回復を見せています。日本自動車工業会によると、ロシアにおける２０１１年の乗用車の新車販売台数は前年比プラス３９％の２６５万台となりました。さらに２０１２年も好調なスタートを切っており、欧州１位の自動車大国であるドイツと肩を並べる３００万台規模に達するとの予測もでています。資源価格の高騰を追い風に所得が増えた中間層の消費の伸びがその理由です。

ロシアの自動車産業は販売台数に加えて、生産台数の面でも盛り上がりを見せています。自動車産業の就業者数は軍需産業の約２倍で、政治的にも重要産業と位置付けられています。そのため、ロシア政府は自動車産業への大規模な財政支援と外国メーカーとの提携を促進することで産業の再生を図っています。２０１１年の国内自動車生産は急回復し、中でも外国自動車メーカーの増加が目立ちます。

例えば、日産とルノーは、ロシア最大手の自動車メーカー「アフトワズ」の工場で、共同の生産ラインの稼働を始めました。今後、３社が共同開発した「アフトワズ」の新モデルの生産など、新しい展開が予定されています。
ドイツを代表する自動車メーカー「フォルクスワーゲン」も、ロシア・ウラジーミル州政府と新たな自動車工場の建設に関する協議を行っているようです。

自動車産業の急回復を背景に、ロシアの今後の経済成長に期待が集まります。

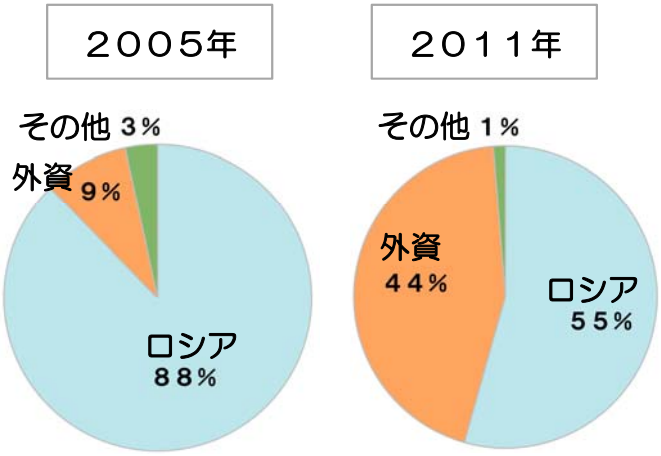
世界の自動車需要ランキング（単位：１００万台）

２００９年			２０１３年（予測）		
1位	中国	13.0	1位	中国	20.7
2位	米国	10.4	2位	米国	15.5
3位	日本	4.6	3位	日本	4.5
4位	ドイツ*	3.8	4位	ブラジル	3.7
5位	ブラジル	3.0	5位	インド	3.4
6位	フランス*	2.3	6位	ドイツ*	3.1
7位	イタリア*	2.2	7位	ロシア	3.0
8位	インド	2.1	8位	フランス*	2.0
9位	英国*	2.0	9位	英国*	1.9
10位	ロシア	1.5	10位	イタリア*	1.7

*乗用車に限る

（出所）GSAM作成

ロシアの自動車 資本別生産台数割合



（出所）JETRO

成長国について詳しくはこちらから www.gsam.co.jp

Goldman Sachs Asset Management

本資料は、情報提供を目的としてゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社(以下「弊社」といいます。)が作成した資料であり、特定の金融商品の推奨（有価証券の取得の勧誘）を目的とするものではありません。本資料に記載された過去のデータは将来の結果を保証するものではありません。本資料は、信頼できると思われる資料に基づいて作成されていますが、弊社がその正確性・完全性を保証するものではありません。本資料に記載された市場の見通し等は、本資料作成時点での弊社の見解であり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告なしに変更する場合もあります。本資料の一部または全部を、弊社の書面による事前承諾なく(Ⅰ)複写、写真複写、あるいはその他いかなる手段において複製すること、あるいは（Ⅱ）再配布することを禁じます。<審査番号：72344.OTHER.MED.OTU>
© 2012 Goldman Sachs. All rights reserved.